

「麻しん」2019に入り急増

和歌山市内でも届出

全国的に2019年に入り、麻しん患者の報告が急増しています。和歌山市においても麻しんの届出がありましたので、情報提供いたします。

- 19歳 男 和歌山市内在住 専門学校生（大阪市）
- 病型：修飾麻しん（検査診断例）
- 症状：発熱（1/25～）・発疹（1/27～）
- 発病日：1月25日
- 診断日：1月28日（PCR検査診断）
- 接種歴：2回接種
- その他：発病日までは大阪市内の学校へ南海電鉄南海線を利用し通学

【全国の状況 2019年第1週～3週：速報値】 全国：68

栃木県：2	東京都：6	岐阜県：3	愛知県：7
三重県：29	滋賀県：1	大阪府：16	奈良県：1

和歌山県：3

特に三重県、大阪府などの近隣府県や県内で急増していますので、ご注意ください。今後も広域的な地域において麻しん患者が発生し、医療機関を受診する可能性がありますので、今後の発生動向と、発熱や発疹を呈する患者が受診した際は旅行歴や予防接種歴の確認など、ご留意いただきますようお願いいたします。「麻しん」と臨床診断した場合は直ちに情報提供いただき、精度の高い麻しんの検査診断と感染防止対策を進めるために、PCRによる行政検査を行いますのでぜひ急性期の検体採取にご協力をお願いいたします。

《確保いただきたい検体》

- ① 咽頭ぬぐい液（専用ウイルス搬送用培地）
 - ② 血液（EDTA加全血 3～5cc程度）
 - ③ 尿（滅菌スピッツ 10～20cc程度）
- ①～③のうち採取可能な複数検体（容器は情報提供後お届けいたします。）

連絡先

平日：和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL（073）488-5109
夜間・休日：和歌山市役所 警備室 TEL（073）432-0001